

【平成 30 年 9 月】

地域を支える仕組みづくり

岩出山福祉会福祉推進委員とのワークショップが行われました

平成 30 年 9 月 1 日（土曜日）午前 10 時から岩出山地域福祉センターにて、岩出山福祉会主催で「第 1 回 おしゃべり広場 福祉推進員さんと一緒」が開催されました。「福祉推進員はなにをしたらいいの？」という声が多く、役員が岩出山の千葉コーディネーターに相談しワークショップの開催に至りました。

当日は約 40 人の福祉推進員が参加して、「岩出山地域の身近な小さい集まり」についてグループで出し合いました。今後話し合いやワークショップを重ねて福祉推進員の役割を明確にして地域で活躍することが期待できます。

岩出山地域では、地域の各種団体とコーディネーターの連携ができ始めています。

西古川地域づくり委員会主催のワークショップ 2 回目が開催されました

平成 30 年 9 月 13 日（木曜日）午後 7 時から西古川地区公民館にて、西古川地区振興協議会主催（西古川地区公民館共催）で「第 2 回地域づくりワークショップ～地域の課題を話し合おう～」が開催されました。

当日は約 30 人の地域住民が集まり、西古川地区の課題について意見を出し合いました。出された意見には、少子高齢社会による担い手不足の課題や、民生委員、婦人会、保健推進委員が行っている活動を上手く使いきれていない等の意見がありました。次回は出された地域課題の解決策をメンバーで考えます。

鹿島台まちづくり協議会（健やか安心委員会）が池月サポートセンターに視察を行いました

平成 30 年 9 月 14 日（金曜日）午前 10 時から鹿島台まちづくり協議会（健やか安心委員会）が、池月サポートセンターで行っている「有償ボランティア」の仕組みを学ぶために約 15 名で視察を行いました。鹿島台まちづくり協議会（健やか安心委員会）では、これまでワークショップを繰り返し行い、地域の課題を解決する方法について考えており、今回の視察に至りました。

鹿島台まちづくり協議会（健やか安心委員会）では、生活支援体制整備事業の実施を視野に入れて、今後も話し合いを継続していきます。

医療と介護の連携

おおさき地区医介連ネットワーク運営委員会が開催されました

平成30年9月6日（木曜日）午後6時30分から大崎市医師会にて「おおさき地区医介連ネットワーク 平成30年度 第1回運営委員会」が開催され、21人の医師や看護師、行政等が参加しました。

今回は、大崎市内でも広がりつつある、医療や介護関係者、患者家族等の情報共有ツール（MCS）を安全に利用することができるように独自の運用ルールを協議しました。今後はMCSについて全体に伝える研修会も視野にいて協議を行っていきます。

訪問看護ステーション管理者懇談会が開催されました

平成30年9月11日（火曜日）午後6時から大崎市医師会にて市内の訪問看護ステーション管理者懇談会が開催されました。今回は、大崎市自立支援型地域ケア会議について高齢介護課職員からの説明を聞いた後に、「多職種に訪問看護の役割をさらに理解してもらうために」という内容で、医学講座や多職種研修会で役割を見える化すること等について意見交換を行いました。

大崎市医師会主催の医学講座3回目が開催されました

平成30年9月18日（火曜日）午後6時30分から大崎市図書館にて大崎市医師会主催による「今だから学びたい介護事業所向け医学講座」の第3回目が開催され、市内の介護事業所に勤めるケアマネジャー等45人が参加しました。今回は宮城県介護研修センター 作業療法士 大場 薫氏を講師に「地域リハビリテーション」についての講義が行われました。

参加者からは「観察やケアのポイントがわかった」「すぐ現場で活用したい」等の感想が聞かれました。



鳴子看護職の集いが開催されました

平成30年9月28日（金曜日）午後3時から大崎市民病院鳴子温泉分院にて鳴子地域の看護職の集いが開催され、病院・訪問看護ステーション、デイサービスおよび行政で働く看護職15人が集まり、話し合いを行いました。各病院・事業所の体制や取り組み等を報告し合い、さらに顔の見える関係の構築と、連携を深める機会となりました。